

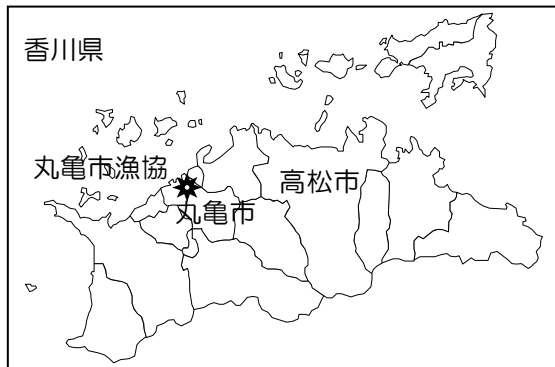
継続は力なり！全員参加型の女性部活動

丸亀市漁業協同組合女性部
西川清子

1. 地域の概要

丸亀市は、瀬戸大橋の西に位置し、かつては金毘羅参拝の港として栄えた歴史ある城下町で、現在の人口は11万人と県都高松市に次いで2番目に多い。

丸亀藩は長く京極家が治め、初代京極丸亀藩主の祖母が浅井三姉妹の次女「初」である。石垣と現存する天守閣で有名な丸亀城や伝統的工芸品の丸亀うちわが市のシンボルである。周辺海域に塩飽諸島の島々を有し、速く複雑な潮流を利用した漁業が営まれている。



地域図



瀬戸内海を見下ろす優美な姿の丸亀城

2. 漁業の概要

丸亀市漁協は正組合員43名、准組合員17名の計60名で構成されている。主な漁業は、小型底びき網（17戸）で、そのほか、刺網、潜水、まて突き、ノリ養殖など、水揚げ高は約9,740万円である。

3. 研究グループの組織と運営

女性部は昭和34年3月に結成され、現在、部員は52名、うち役員は10名で活動している。「みんなが暮らしやすい、健康で明るい郷土をつくりましょう」をスローガンに、健康管理、魚食普及、天然石けん使用推進、ライフジャケット着用推進、協同事業への積極的参加を課題として取り組んでいる。また、ふれあいとゆとりある活動を心がけて運営している。

4. 研究・実践活動取組課題選定の動機

丸亀市女性部は結成55年目を迎えた。私は、前部長から役を引き継ぐ時、「できると思ったらとことんやれ！！」との夫の一言で腹が決まり、「よーし、組合のため、女

性部のため、お役に立てるのなら」との覚悟で引き受け、あっという間に26年経った。

就任当時は144名の部員がいたので、部員の減少には寂しさを覚える。しかし、現在も漁家はほぼ全戸が女性部に加入しており、団結力は変わらない。全員が何らかの活動に参加できるように、行事を出来るだけ減らさないように努力している。協同精神が薄れつつある現代だからこそ、あえて地道に継続している活動を今回発表させていただくこととした。

5. 研究・実践活動状況及び効果

年間の活動については、別表のとおりである。このように毎月何らかの活動を行っている。活動を継続させるためには、まずは役員を減らさないことが重要である。

役員を選出方法は、地区ごとに6班に分けて、部員数の多少により各班から1～2名の役員を割当てしており、10名の役員を作る。任期は1年だが、次の役員を出さないと交替できないルールである。役員全員が、運営に参画するように役割分担を行っている。毎月の担当者を決めるほか、くじ引きで3班に分けて3つの大きな行事については、班ごとに企画から行う。このため「名ばかり役員」はいない。

そして、行事の案内や決定事項については、役員が責任を持って回覧し、全員に周知している。

課題別の主な活動内容について

(1) 健康管理活動の推進

毎年、真夏を前にした7月に、市の保健士に来てもらい、健康診断、食事指導、体操指導等の健康相談会を開く。女性部や漁協単独で健康相談会を行うのは珍しいようであるが、漁師は体が資本なので男性組合員の参加も促して長年続けている。

健康づくりとしては、ほかに年2回、丸亀城にハイキングに行く。早朝に出発し、お城を一回りした後、体操をする。この後の喫茶店でのモーニングのおいしいこと。リフレッシュのひと時である。

他に長年継続しているものに手芸講座やカラオケ教室がある。「公民館までは行けないが組合なら行ける」という高齢者の声を大切にして、趣味の講座も続けている。ひとり暮らしの部員もいるので、ひきこもらないようにすることも健康づくりの一端である。

(2) 魚食普及活動及び食育の推進

子育て中の若いお母さんたちに、魚の扱いに慣れて家庭料理に取り入れてもらいたいと願い、魚料理教室を行っている。アジのおろし方やゲタ（シタビラメ）の皮むき、タコのゆで方など、ちょっとしたコツを学ぶことで興味を持ってくれ、「おもしろい、また魚をさばきたい」という声を聞けるので教えがいがある。実習メニューも私たちが家で作るよう



魚のさばき方を指導

に教えるのがかえって良いようである。

また、広く地域の人に地魚の美味しさを知ってもらうために、ふれあい祭りなどのイベントに出展している。私たちの店は「行列のできる店」と言われている。市の広報にはこのように紹介された。「瀬戸内海でとれたピチピチの魚介でおいしさは天下一品です。作り手とお客さんの笑顔が交錯して明るくにぎやかな雰囲気に包まれます。」

特にファンが多いのが、甘辛く味付けしたタコを天ぷらにしたタコ天で、1日で500パックを完売する。タコ飯は3升釜で10回炊き、ほかにエビやアナゴの天ぷらが定番である。

材料の魚を集めるのに一苦労あり、特にタコは単価が変動するので、天候や価格を見ながら、400kgを目標に徐々に買いだめして冷凍しておく。アナゴやエビも40kgが必要で、漁師仲間に頼んだり、副部長が市場のセリで買ったりする。材料がそろると、次は無事故と完売を祈る。

イベント当日は、午前0時から作業を開始し、4時、5時、6時と、部員を3～4人ずつ参集し、イベント中は20名程の体制としている。動員は、前日の準備とあわせて時間割を作り、班ごとに全員へ回覧を回して出られるところに名前を入れてもらう。部員も心積もりをしてくれており、これで大体ちょうどいい位に集まる。

真夜中から準備するのは、注文分を開会時間までに作り終えておくためである。長い行列で待っている人の前で、注文だからとはいえ後から来た人に渡すのは失礼と思いい、注文分を先に作り、渡す場所も別にしている。気持ちよく買ってもらうための心遣いである。



タコ飯の準備



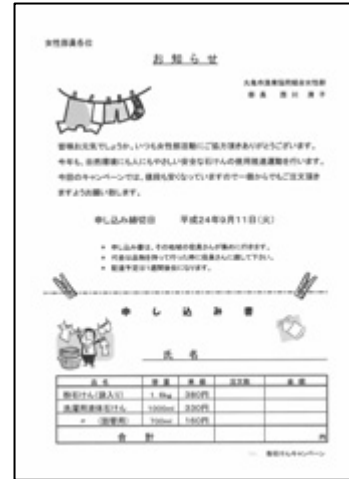
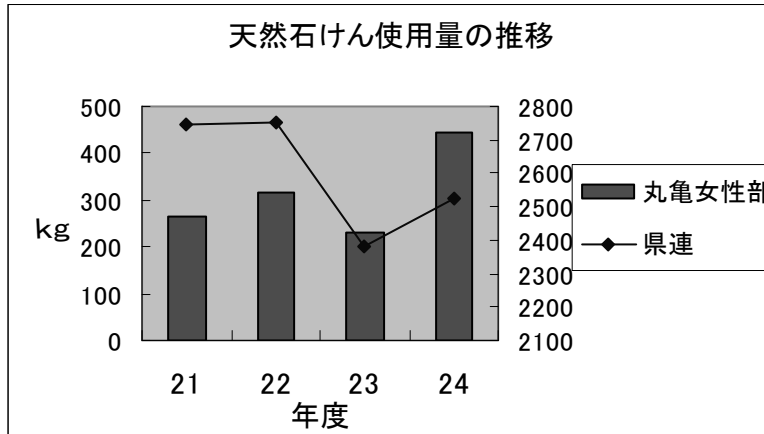
揚げたての天ぷらを実演販売

(3) 天然石けん使用推進運動

普段から記念品やイベントのお礼に使い、部員への普及を図っている。特に、9月を石けんキャンペーンとして全員に申込書を配り、役員が申込書を集めて品物も配るようになっている。ひと手間かかるが、やはり顔を見て声かけするのが一番の推進運動である。

地域全体への啓発として、コミュニティセンターにチラシを置かせてもらうほか、平成24年度からは、丸亀市の農林水産課に石けんの良さを説明に行っている。市の環

境計画にも健康に優しい洗剤の使用が謳われているので、行政にも働きかけながら一緒に推進していきたい。大切な海のためである。



(4) ライフジャケット着用推進運動

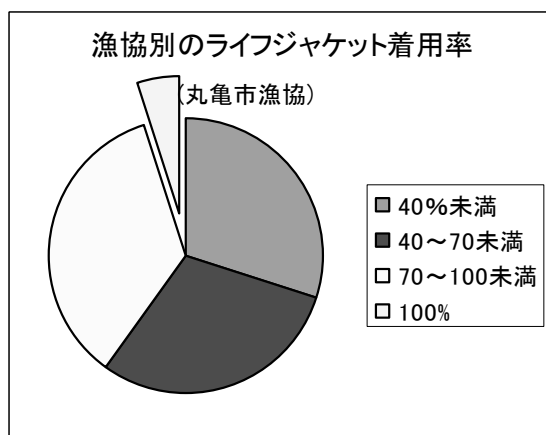
県女性部連合会では、組合員の命と家族の生活を守る運動を重点課題に掲げ、平成 21 年 10 月、「ライフガードレディースかがわ」を発足させた。

丸亀市女性部からは 5 名が任命を受けており、そろいのジャンパーを着てのぼりを揺るがせながら、「着けて ライフジャケット 守って 命を」の合言葉呼びかけている。組合員はもちろんのこと、港では、釣り舟の人にもチラシを配り呼びかける。

昨年度、県女性連では、関係団体に重要性を訴えて経費の助成を受け、啓発リーフレットと懸垂幕を新たに作成した。リーフレットの内容は県女性連の役員で検討して決めたのだが、私の家族がモデルを努めることとなった。また、県や海上保安部と連携して海上から着用をよびかけたり、地域ごとに着用推進講習会を開催したりしている。

平成 25 年 10 月の着用率調査では、当漁協が県内で唯一 100%を達成している。

チラシ



啓発リーフレット

(5) 協同事業への積極的参加

丸亀市女性部は、県漁協女性部連合会の決定事項を実践することとしており、必ず役員会で報告して具体的にどう活動するかを相談し、その結果を部員全員に伝達する。ライフジャケット着用、天然石けん使用運動の達成度が高いほか、募金活動においても全員参加している。

(6) その他

女性部の活動時には必ず記録と写真を取り、総会時に、大きな紙に行事ごとにまとめて部屋に貼り出し、手作りのイラストや小物で総会会場を明るく飾り付ける。行事を楽しくふりかえるとともに、また皆で1年頑張ろうという気持ちを盛り上げるためである。そして、写真がほしい人ははがして持って帰ってよいことにしている。高齢の部員も楽しみにしてくれ、這ってでも総会には出てきてくれる。

ほかに、お地蔵様の掃除などのボランティア活動も続けている。

6. 波及効果

全役員が運営に参画し責任を持ち、各部員に情報を伝える体制が確立できたことで、活動目標の達成率をあげており、石けん普及やライフジャケット推進等において他女性部を牽引している。

ライフジャケット着用率の高さは、健康づくり活動を継続していることで組合員各自が健康や命を守る意識が向上しているためと思われる。

部員の声かけから始まる地道な取組みは、地域の高齢者の孤立化を防ぎ、地域の安全を守る一助になっている。

7. 今後の活動計画

部員の高齢化がすすむ中、年齢に応じた運営の形を探りながら、これからも普段の小さい活動を通してコミュニケーションをとり、みんなで助け合いながら息の長い活動を続けたい。地道な活動の積み重ねが、組合員や地域の安全につながることを確信しており、女性部のため、組合のため、地域のためにと努力していきたい。



平成24年度事業報告書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

年月日	諸会議・その他行事	内 容	参加人員
24. 4. 24	H24年度女性部通常総会	事業報告・収支決算・事業計画他	32
25	役員会	平成24年度会費徴収、地蔵尊清掃当番他	9
26	H24年度第1回県漁協女性連役員会	事業報告・収支決算・事業計画他	1
27	協議会	女性部50周年記念品について	
5. 13	ハイキング	亀山城、モーニングコーヒーを楽しむ	12
15	役員会	会員研修について	8
17		女性部50周年記念品(丸盆)を配る	
21	協議会	役員研修について	
22	H24年度県女性連通常総会	事業報告・収支決算・事業計画他	2
//	H24年度第2回県漁協女性連役員会	女性部大会の任務分担について他	1
6. 2	会員研修	『油屋 美馬館』	22
12	第54回香川県漁協女性部大会	香川県漁連会館(6階大会議室)	9
7. 10	役員会	健康相談、天然石けん価格値下げについて	7
18	健康相談	血圧測定、尿検査、体脂肪測定	25
8. 27	手芸講座	来年の干支(巳)の額入・手提げ袋(縦・横)	9
9. 3	役員会	石けんキャンペーン、ほくほくふれあいまつりについて	9
7	瀬戸内海を守る香川県連絡会	高松市水道局研修室	2
11	粉石けんキャンペーン		29
10. 7	ほくほくふれあいまつり即売	城北小学校運動場	
13	食事会	イベントお礼『ナスの花』	15
22	役員会	供養地蔵尊手伝い、ハイキング、会員研修について	9
25	供養地蔵尊及び波切不動明王並びに供養塔供養	供養手伝い	
11. 4	ハイキング	亀山城、モーニングコーヒーを楽しむ	11
27	H24年度第1回漁協女性部リーダー・事務局合同研修会	香川県漁連会館(6階大会議室)	3
12. 1	会員研修	『城山温泉』	18
8	役員反省会	『ひらた』飯山町	9
11	海難遺児育英募金	200円×52名=10,400円	
25. 1. 16	役員会	明倫まつりについて	9
2. 19	H24年度第2回漁協女性部長・事務局合同会議	香川県漁連会館(6階大会議室)	3
//	H24年度第3回県漁協女性連役員会	香川県漁連会館(6階大会議室)	1
20	役員会	明倫まつりについて	9
3. 3	明倫まつり即売	城北コミュニティーセンター	
9	食事会	イベントお礼『ナスの花』	17
26	役員会	平成24年度女性部総会について	8

平成25年度事業計画書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

丸亀市漁業協同組合女性部

年月	内容	内容	内容	内容	
25	4	総会	役員会	会費徴収	任務分担
	5	役員会	会員研修	ハイキング	
	6	役員会	役員研修	女性部大会	
	7	役員会	健康相談		
	8	役員会	手芸講習		
	9	役員会			
	10	役員会	ほくほくまつり	供養塔地藏尊供養	ハイキング
	11	役員会	秋のびちびちとれたて市	会員研修	
	12	役員反省会			
26	1	役員会			
	2	役員会			
	3	役員会	明倫まつり		

月1～2回 地藏尊清掃

月2回 カラオケグループ